

「農作業事故」

明日は我が身、我が家族、我が仲間

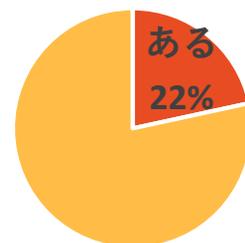
楽しく長く農業を続けるために、
農作業時の安全対策について改めて考えてみませんか

- ◆ 死亡事故を除いて、65歳以降に農作業事故を起こしたことがある人

5人に1人

※75歳以上の方へのアンケート

65歳以上で事故を起こしたことが



- ◆ 過去1年で農作業中の事故で亡くなったり、大きなけがを負った知人がいる方

4人に1人

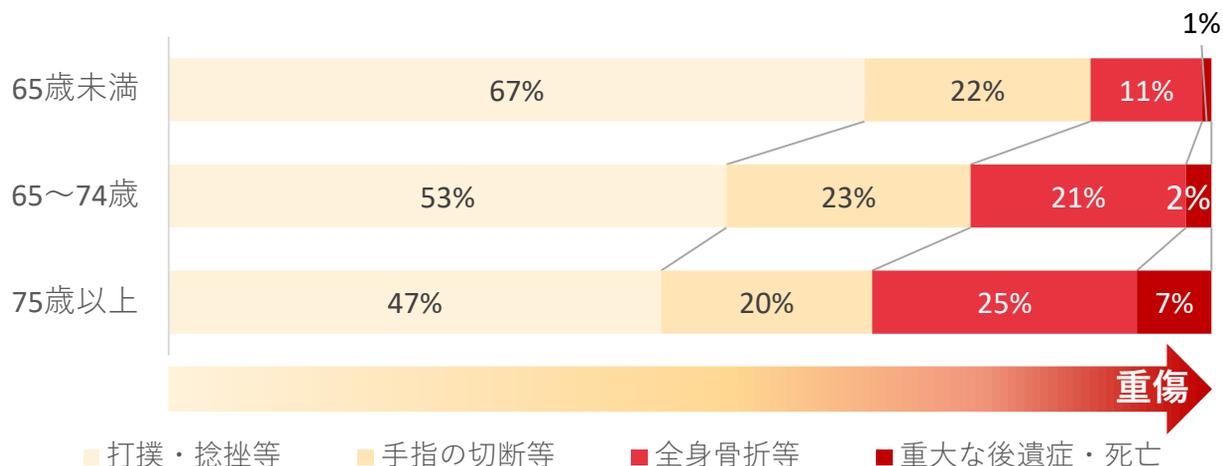
友人が...



出典：関東農政局実施アンケート

- ◆ 年齢が高くなるほど事故によるケガは重傷化しやすい

農作業事故によるケガの内容



出典：JA共済 共済金支払結果分析

あなたは農作業事故に遭いやすい...？
まずは、次ページで事故の遭いやすさを
予報してみましょう！

関東農政局



農作業事故予報

①安全対策、②身体機能、③ヒヤリ・ハットの3つのチェック項目の点数からあなたと農作業事故との距離を予報します。

①安全対策チェック

まず、**緑色の必須項目**にチェックをつけ、次に、**青色の選択項目**からよく使用する機械等を2つ選択し、該当する場合はチェックを付け、そのチェック数の合計点を計算してください。普段の作業の場を思いうかべながらチェックしてください。

選択したら☑		安全対策の内容	ある	チェック数
必須	☑ 共通	• 昨日の作業の続きと思わずに常に新鮮な気持ちで農作業を行っている。	<input type="checkbox"/>	
		• 安全講習に定期的に参加している。	<input type="checkbox"/>	
		• 定期的に農機メーカーや専門家に点検を依頼している。	<input type="checkbox"/>	
		• 作業所の整理整頓を行っている。	<input type="checkbox"/>	
		• 暑い時期は特に作業時は定期的に日陰で休んでいる	<input type="checkbox"/>	
い ず れ か 2 つ 選 択 (よく使用する機械等)	☐ 乗用トラクタ	• ローター・ハロー等の作業機の着脱について正式な方法を習ったことがあり、その手順で行っている。	<input type="checkbox"/>	
		• シートベルト・ヘルメットを装着している。	<input type="checkbox"/>	
	☐ 耕うん機	• バックしたときに障害となる立木、格納庫の壁、ハウスの壁、崖などが無い。	<input type="checkbox"/>	
		• 土が固い場合は慎重に作業している。	<input type="checkbox"/>	
	☐ 刈払機	• 滑りやすい傾斜地には、法面途中に足場や小段が設けてある。	<input type="checkbox"/>	
		• 保護具を着用したり、飛散物防護カバーなどの安全装置を装備して適切に使用している。	<input type="checkbox"/>	
	☐ 脚立・はしご	• 脚立の天板に乗ったり、またがって作業はしない。	<input type="checkbox"/>	
		• 高所で身を乗り出して作業したり、重いものを持って昇り降りしない。	<input type="checkbox"/>	

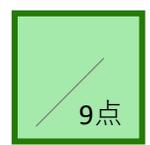
必須チェック数



選択1
チェック数



選択2
チェック数



②身体機能チェック

年齢	65歳未満	<input type="checkbox"/>	0点
	65～74歳	<input type="checkbox"/>	1点
	75歳以上	<input type="checkbox"/>	2点



身体・認知機能	階段を手すりや壁を伝わらず昇れない	<input type="checkbox"/>	1点	
	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上れない	<input type="checkbox"/>	1点	
	過去1年間に	1回だけ転倒した	<input type="checkbox"/>	1点
		2回以上転倒した	<input type="checkbox"/>	2点
	2日前の夕食を覚えていない	<input type="checkbox"/>	1点	

合計点



③ヒヤリハットチェック

まず、**橙の必須項目**にチェックをつけ、次に、**黄色の選択項目**からよく使用する機械等を2つ選択して、該当する場合はチェックを付け、そのチェック数の合計を計算してください。普段の作業の場を思いうかべながらチェックしてください。

選択したら☑		ヒヤリ・ハットの内容	ある	チェック数
必須	☑ 共通	・ 知人、家族等の身近に起こった重大事故の話聞いた時、自分も同じことをしていると思ったことがある。	<input type="checkbox"/>	
		・ 周囲の補助者とぶつかりそうになったことがある。	<input type="checkbox"/>	
		・ 衣服が操作レバーや機械、構造物などに引っかかった。	<input type="checkbox"/>	
		・ 乗降時に滑って転落しそうになった、飛び降りてしまった。	<input type="checkbox"/>	
		・ 発進時にギヤの設定を間違え（前進/後進や高速/低速）、思わぬ向きや速度で機械が動いた。	<input type="checkbox"/>	
いずれか2つ選択 (良く使用する機械等)	☐ 乗用トラクタ	・ スピードを出し過ぎて、ハンドルを取られたり、横転しそうになったり、あぜ道の境目がわからず危うく転落しそうになった。	<input type="checkbox"/>	
		・ 道路走行中やほ場の出入り中、ブレーキが片効きだった。	<input type="checkbox"/>	
	☐ 耕うん機	・ エンジン回転をあげたまま、バックギアに入れた途端、ハンドルが跳ね上がった。	<input type="checkbox"/>	
		・ Uターンをするときに、ロータリーを止め忘れ、足をケガしそうになった。	<input type="checkbox"/>	
	☐ 刈払機	・ エンジンを切らずに絡みついた草を取り除こうとしたら、刈刃が動き出した。	<input type="checkbox"/>	
		・ 刈刃が地面や石、水面に当たり、とんでもない方向に跳ねた。	<input type="checkbox"/>	
	☐ 脚立はしご	・ 土が柔らかい場所や平坦でない場所に脚立やはしごを設置したりして、脚立やはしごが傾いたり、地面へ転落しそうになった。	<input type="checkbox"/>	
		・ 脚立やはしごの昇り降りの際に足が滑りそうになった、または、滑った。	<input type="checkbox"/>	

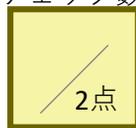
必須チェック数



選択 1
チェック数



選択 2
チェック数



予報開始

①安全対策

安全対策
チェック数は
5点以上
でしたか？

②身体機能

身体機能
点数は
0~3点
でしたか？

③ヒヤリハット

ヒヤリハット数は
0~4点でしたか？

ヒヤリハット数は
0~4点でしたか？

ヒヤリハット数は
0~4点でしたか？

予報結果

A

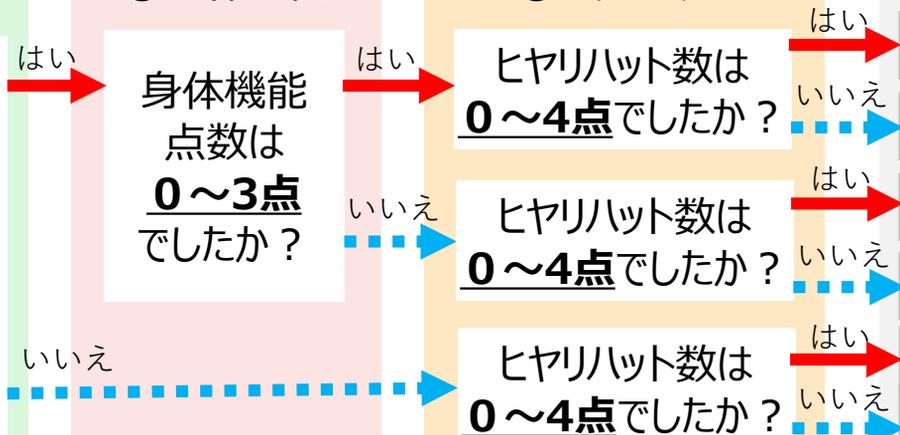
B

C

D

E1

E2



予報結果の詳細内容は次のページをご覧ください →

タイプ
A**事故の身近さ「遠」：油断せず**

安全管理意識が高く、身体機能も比較的高いと言えます。
今後も安全管理を家族や周囲と共有しながら、心身の状況を定期的に確認しましょう。

タイプ
B**事故の身近さ「中」：安全管理行動の再確認を**

安全管理意識、身体機能とも高いですが、一方でヒヤリハットが多いということは、安全管理行動をやったつもりになっているかもしれません。
本紙やマニュアル等で再度正しい方法を確認しましょう。

タイプ
C**事故の身近さ「中」：余裕を持った行動を**

安全管理意識は高く、ヒヤリハットも少ないですが、身体能力が低下気味です。
過去の自分と比較せず、余裕を持った農作業を行いましょう。

タイプ
D**事故の身近さ「やや近」：危険を伴う作業は出来るだけ任せよう**

安全管理意識は比較的高いですが、身体能力が低下気味で、ヒヤリハットが多くなっています。
安全対策の正しい方法を本紙等で再度確認しながらも、危険を伴う作業は出来るだけ人に任せましょう。
安全対策について、疑問点があればお近くのJAや都道府県の普及指導員、関東農政局、メーカーなどへ相談してください。

タイプ
E₁
E₂**事故の身近さ「近」：事故はすぐそこ、今すぐ改善を**

このままではいつ重大な事故を起こしてもおかしくありません。E₂の場合はもうヒヤリハットが多く起きていますし、E₁の場合も安全対策が十分でない以上、実は危険と隣り合わせで仕事をしています。
安全講習会などに参加して対策を学ぶと共に、実行に移しましょう。
また、危険を伴う作業や作物は思い切って止めることも検討しましょう。周りを巻き込む可能性もあります。
安全対策について、疑問点があればお近くのJAや都道府県の普及指導員、関東農政局、メーカーなどへ相談してください。

事故を起こす可能性をより詳細にチェックをするなら...

資料の名前	どんな資料？	どうやって探す？
① あなたの安全診断 農作業安全リスクカルテウェブサイト	【インターネットで】安全に関するテストと、動体視力をゲーム感覚でチェック	キーワードで探す 診断 農作業 安全リスク  
② 安全意識を自己点検しよう	【紙を印刷】身体能力と、安全に関するテストから、あなたの危険度をチェック	キーワードで探す 農林水産省 安全意識 点検  

①https://nitinoki.or.jp/risksite/anzenkakunin_y.html②https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/attach/pdf/siryo-1.pdf

農機別事故事例と安全対策

乗用トラクタ



5

◆どんな事故があるの？（特に高齢者）

特徴	事故結果	詳細
よく起こるし、大けがしやすい	農機の転落・転倒	公道やほ場等の走行中
よく起こる	作業機・本体への接触、巻き込まれ、挟まれ	作業機の着脱や詰まり除去時等
大けがしやすい	ひかれ、下敷き	農作業中

◆事例と対策（乗用トラクタの転落・横転）

事故体験談

機械用具

乗用トラクタ：30馬力、40年程使用、作業機装着

【場所：農道、60代後半、男性】

トラクタに乗っていた際に、農道に軽トラックが駐車されていたため避けて通ろうとしたところ、**農道より1.5mくらい下の田んぼに転落してしまいました。**トラクタは上下逆転して横転し、機械の下敷きになりました。

農道の幅は軽トラックが駐車されていたことで、トラクタとほぼ同じ幅でした。安全キャブもフレームもついていない40年程使用したトラクタでした。走行速度は5km程でした。

少し待てば安全に移動できたのに...

＜ケガの内容＞右足の太ももからつま先まで打撲。2か月ほど内出血。3回ほど通院。



事故要因

- 本人**
 - ヘルメット未着用。
 - 駐車されていた軽トラックの運転手はすぐ近くにおり、移動可能であったが、面倒に感じ無理に通ろうとしてしまった。
- 農機**
 - 安全キャブ・フレーム、シートベルトが未搭載の機種であった。
- 環境**
 - 道幅の狭い農道で、軽トラックが駐車されており、トラクタの車幅と通ろうとしている幅がほぼ同じであった。

再発防止対策

＜ご自身で考えた対策＞

- 不注意が原因のため従業員や役員の皆と**事故現場で現場検証**を行い**注意喚起**する。
- 慌てない、時間に追われないようにと徹底**する。

＜専門家からのアドバイス＞

- 狭いところを無理に通らない**にしましょう。また、**作業機側の幅も十分確認**しましょう。
- トラクタ更新時には**安全キャブ・フレーム装着機**を選びましょう。未装備機を使い続ける場合は、**メーカーに後付けできないか相談**してみましょう。
- ヘルメットを着用**しましょう。



より詳しく事例と対策を知るには...【お勧め動画】

資料の名前	どんな資料？	どうやって探す？
トラクター作業を安全に～高齢農業者の実作業をもとに～	乗用トラクタ作業における安全な操作、注意事項を説明	キーワードで探す 農業機械化協会 動画 トラクタ



<https://www.youtube.com/watch?v=ORQAVNDhWLE&t=2s>



◆どんな事故があるの？（特に高齢者）

特徴	事故結果	詳細
よく起こる	人が転倒・転落 刃部や本体への接触	法面等の斜面にて草刈りを行っている時に、滑って転倒する等 刃に絡まった草等を除去しようとした際に刃が動き出す等

◆事例と対策（刈払機による巻き込まれ）

事故体験談

機械用具

刈払機：背負い式の刈払機。固定式スロットルの刈払機

【場所：ほ場法面、60代後半、男性】

刈払機の刃に絡みついた蔓等を、届くだろうと思い刈払機を背負ったままエンジンも止めずに手で取ろうとしました。すると絡まっていた蔓が外れた時に刃が回転して、手が巻き込まれてしまいました。医者に見せた際、必ずエンジンは切り、刈払機を下ろして対応しなければならいと怒られました。刈る方向は意識したことはなく、いつも左右往復刈りしていました。

軍手をしていたのでより巻き込まれました。保護メガネはしていなかったです。

<ケガの内容>

左手中指の切創。通院1回。

エンジンをかけたままではダメと分かっていましたが面倒だった...



本人

事故要因



本人

- エンジンを止めずに詰まり除去をしようとした。
- 刈払機を背負ったまま作業を行った。
- 刃が回転する可能性がある状態で軍手を着用していた。
- 詰まりが生じやすい左右往復刈りをしていた。



農機

- 固定式スロットル（レバーを離しても止まらない）の刈払機を利用していた。



環境

- 普段除草していない場所で蔓の量が多かった。



安全管理

- 安全管理講習などで正しい使用方法を聞いたことが無かった。

再発防止対策

<ご自身で考えた対策>

- 刈払機を下ろしてエンジンを止めて取り除く。

<専門家からのアドバイス>

- トリガー式スロットルの刈払機を使用しましょう。
- 正しい作業方法を徹底するようにしましょう。（特に刃の左前方1/3に刈位置を限定することでキックバック、作業者への飛散物、詰まりを全て防ぎます）
- 保護メガネを着用しましょう。
- できるだけ小まめに除草して、草の量を抑えるようにしましょう。
- 法面用草刈機の利用も検討してみましょう。



より詳しく事例と対策を知るには...【おすすめ動画】

資料の名前	どんな資料？	どうやって探す？
草刈機講座 福島県 農作業安全啓発DVD 刈払機編	【動画】 刈払機の正しい使い方を絵や動画で紹介	キーワードで探す 動画 刈払機 アグリカレッジ

QR



農機別事故事例と安全対策

脚立・はしご



◆どんな事故があるの？（特に高齢者）

特徴	事故結果	詳細
よく起こるし、大けがしやすい	はしごでの墜落	高さのあるはしご上で作業を行ってしまった等
よく起こる	脚立での墜落	脚立の天板に乗る等
大けがしやすい	—	—

◆事例と対策（脚立からの転落）

事故体験談

機械用具

脚立：2m 足の長さは変更不可

【場所：果樹園、70代後半、男性】

脚立の**上から二段目(1.5m程)**に跨って乗りながら柿を収穫していたところ、**バランスを崩し脚立と一緒に倒れました**。以前、左大腿骨を骨折したことがあり、バランスを崩した際に咄嗟に左を避け、臀部から腰にかけて落ちました。

農地で地面が柔らかかったことに加え、若干の傾斜(ほとんど気にならない程度)があり、不安定になっていました。無理をして手を伸ばして作業していたことが原因ではないかと思えます。

<ケガの内容> 第四腰椎圧迫骨折。
事故後、**骨密度低下が発覚**。怪我の重症度に影響した。全治2ヶ月(2ヶ月入院)。

脚立の上から2段目に乗ったり、
跨いでもいけないことは知らなかった・・・



事故要因



- 上から2段目に乗り、脚立を跨いでいた。
- 鉈を持ち、かつ古傷をかばう形で手をつくことが出来なかった。
- 骨密度の低下（事故後発見）。



- 天板・上から2段目迄が使用禁止であることが目立つような表示はしていなかった。



- ほぼ気が付かない程度ではあるが、斜面があり地面が柔らかく不安定だった。



- 天板上に乗ってはいけないことは理解していたが、跨ぐことや上から2段目に乗ることも不安定さに繋がると知る機会がなかった。

再発防止対策

<ご自身で考えた対策>

- 固定して使用**する。太い木や鉄骨に固定する。
- 使用することに恐怖を感じるようになったので自らは行わず、若い従業員にお願いしている。

<専門家からのアドバイス>

- 脚立は跨らないよう**にしましょう。
- ヘルメットを着用**しましょう。
- 足の長さを調節できるタイプの脚立を使用しましょう。
- 天板、及び上から2段目まで(脚立による)**を目立たせて**使用禁止**であることを明示しましょう。
- 脚立使用時には**よく踏み込んで**安定性を確認してからにしましょう。



より詳しく事例と対策を知るには...【おすすめ動画】

資料の名前	どんな資料？	どうやって探す？
ここがポイント 農作業事故防止	【動画】 脚立の事故事例と事故を防止するポイントを紹介	キーワードで探す 農作業事故 ここがポイント 機種別

QR



農機別事故事例と安全対策

歩行型農機



◆どんな事故があるの？（特に高齢者の歩行型トラクタ）

特徴	事故結果	詳細
よく起こるし、大けがしやすい	前進中の機械の横転、人の転落	ほ場等での前進しながら耕うん時
よく起こる	前進中の作業機、本体との接触・巻き込まれ	ほ場等での作業中に、耕うん爪などで足を巻き込まれる等
大けがしやすい	後進中の構造物との接触	ほ場等でバックで作業中

◆事例と対策（自走式草刈機とともに転落）

事故体験談

機械用具

自走式草刈機(ハンマーナイフモア)：8馬力

【場所：農道(私有地)、70代後半、男性】

ハンマーモアで軽トラックが通れるぐらいの幅の水平な農道の草刈りをしていました。

電気柵を気にしながらバックした際、後ろ向きに機械と一緒に5m程下の川の中に落ちてしまいました。

機械は電気柵の線に引っかかり、途中で止まっていた。本人はもうやらないと言っています。

<ケガの内容> 左大腿棒骨折で2ヶ月入院した。

10月初旬に手術をして、その後1ヶ月リハビリ、11月末に退院。

後遺症が残り、杖をつかずに歩くことはできるが、車の運転はできない。

コロナもあり、受け入れ先の病院が1時間ぐらい見つからなかった・・・



事故要因



本人

- 電気柵にぶつからないよう注意する一方で、後方への確認が不足していた。

環境

- 農道の脇に川があり、高低差があった。

安全管理

- 農機購入時にメーカーから安全対策の説明を受けていたが、実行できていなかった。

再発防止対策

<ご自身で考えた対策>

- ハンマーモアの作業は若手の息子が妻が作業を行う。
- 事故を起こした機械は使わず、他の刈払機を使う。
- 頭は防護する。

<専門家からのアドバイス>

- 刈り残しは刈払機などほかの手段で対応するなどの方法も検討しましょう。
- 傾斜や段差のある場所ではできる限りバックでの移動や作業を行わないようにしましょう。



より詳しく事例と対策を知るには...

資料の名前	どんな資料？	どうやって探す？
【学習】歩行型農機の制御	【動画】 耕うん機等の歩行型農機で起こりやすい事故と対策を紹介	キーワードで探す youtube ja共済 農作業安全 



https://www.youtube.com/watch?app=desktop&v=nrdqmpiESJM&list=PLNLIASpko375_axZgODjzA50OIDV0Jmd&index=5

【問い合わせ先】農林水産省関東農政局生産部生産技術環境課

〒330-9722 さいたま市中央区新都心2-1(さいたま新都心合同庁舎内)

電話番号：048-740-0447

関東農政局農作業安全対策ページ <https://www.maff.go.jp/kanto/seisan/nousan/sizai/annzenn.html>

